

#5 一人の新しい人の機能と究極的な完成のために、神の活動にしたがって労苦して、キリストの中で完全に成長したすべての信者をささげる (2019.10.ITERO) 2019/12/9-15

**Overview:** 今週は新しい人に至るための奉仕についてです。I ~ IIはそのような奉仕のために必要とされる私たちの生活であり、III ~ Vは私たちが奉仕において、パウロのように奮闘してキリストを供給し、聖徒たちを成就し、彼らの機能(福音、牧養、建造)において完全にならせ、彼らをささげるべきであることを言っています。

**I. 私たちはみな一人の新しい人のために、「一人の完全に成長した人に…キリストの豊満の身の丈の度量にまで」到達する必要があります:** **エペソ4:13** ついに私たちがすべては、その信仰の一に、また神の御子を知る全き知識の一に到達し、一人の完全に成長した人に到達し、キリストの豊満の身の丈の度量にまで到達するのです。

**A.** 一人の完全に成長した人とは円熟している人です。このために、命における円熟が必要とされています。

**B.** キリストの豊満はキリストのからだであり、このからだには度量を伴う身の丈があります: **エペソ1:22-23** また神は、万物をキリストの足の下に服従させ、そして彼を万物の上にかしらとして召会に与えられました。この召会は、キリストのからだであり、すべての中ですべてを満たしている方の豊満です。1. キリストの豊満はキリストの表現です。からだはキリストの豊満として、キリストの表現です。2. キリストの豊満、すなわち、からだには身の丈があり、この身の丈にはある度量があります。このゆえに、エペソ4:13は、キリストの豊満の身の丈の度量について語っています。3. キリストの豊満の身の丈の度量にまで到達することは、キリストのからだの満ち満ちた成長と建造に到達することです。それは、からだの建造の満ち満ちた完成に到達することです。

**C.** キリストの豊満の身の丈の度量にまで到達することは、実行上の一(その信仰の一、またキリストを知る全き知識の一)のために必要です。

**D.** 私たちは、実際における一から実行における一へと前進し、ついには13節で述べられた三つの事柄(一[the oneness]、一人の完全に成長した人、キリストの豊満の身の丈の度量)にまで到達する必要があります。 **月**

**II. 私たちは一人の完全に成長した人に到達して神の定められた御旨を完成するために、すべての事でキリストの中へと成長し込む必要があります:** **エペソ4:14-16**

それは、私たちがもはや幼子ではなく…むしろ、愛の中で真実を固く保って、私たちはすべての事で、彼すなわちかしらであるキリストの中へと成長し込むのです。この方から、からだ全体は、その豊富な供給のあらゆる節々を通して、またそれぞれの部分の度量に応じた活動を通して、結合され組み合わせられ、からだを成長させ、愛の中でそれ自身を建て上げるに至るのです。

**A.** 私たちはもはや幼子ではなくなるために、キリストの中へと成長し込む必要があります。これは、すべての事で私たちの中にキリストを増し加え、ついに私たちが一人の完全に成長した人に到達することです。

**B.** キリストを私たちの命とすることは、からだの身の丈の度量を増し加えるためですが、キリストを私たちのパースンとすることは、一人の新しい人を成長させるためです:

1. 私たちがキリストを私たちのパースンとするなら、必ず彼を私たちの命とします。2. 私たちがキリストを私たちのパースンとするなら、成長して円熟することができます。

**C.** 私たちはみなすべての事で、すなわち、一つ一つの事で、大きな事でも小さな事でも、キリストの中へと成長し込む必要があります: 1. 私たちがキリストの中へと成長し込んでいない事がまだ多くあります。それらの事において、私たちはキリストの中におらず、キリストの外にいます。

2. 私たちがみなすべての事でキリストの中へと成長し込むとき、私たちはみなキリストの中で一になります。これが宇宙的な一人の新しい人です。 **火**

**D.** エペソ4:15は、私たちはかしらの中へと成長し込むと言っています。ここの「かしら」という言葉が示しているように、キリストが増し加わることによって私たちが命において成長することは、かしらの下でからだの肢体が成長することであるべきです。 **エペソ4:15-16** むしろ、愛の中で真実を固く保って、私たちはすべての事で、彼すなわちかしらであるキリストの中へと成長し込むのです。この方から、からだ全体は…からだを成長させ、愛の中でそれ自身を建て上げるに至るのです。

**E.** 命において成長することは、神の増し加わりによって成長することです。このことは、真の成長が神の増加、神が加えられることであることを意味します: **コロサイ2:19** かしらに結び付いて…この方から、からだ全体は、節と筋によって豊かに供給され、結合され、神の増し加わりによって成長するのです。1. 神は永遠で、完璧で、完全です。ですから、神ご自身は成長する必要がありません。2. からだは、私たちの中での神の増し加わり、神の増加によって成長する必要があります: a. 神は私たちの中で増し加わる必要があります。すなわち、私たちはみな、自分の中で神に増し加わっていただき、増加していただく必要があります。

b. 霊的に成長する方法は、神が私たちに加えられるようにすることです: 1 私たちは、三一の神が私たちの中へと分与されることによって、神の増し加わりによって成長します。2 私たちが再生された時、神が私たちの中へと入って来ました。そして彼は今、彼ご自身を私たちにさらに加えることによって、私たちの内側で増し加わりつつあります。3 このことは、神が私たちの存在の中へと加えられるようにすることによって、神の増し加わり、神の増加をもって成長することです。c. 私たちがキリストから内側に吸収したもの(土壌としてのキリストの豊富の要素)が、私たちの中で神の増し加わりとなります。d. 私たちはキリストで浸透され飽和されて、キリストが私たちの存在の中へと造り込まれる必要があります。その時、実際と実行において、キリストは一人の新しい人のすべての肢体、すべての部分となります。 **水**

**F.** エペソ4章は、命の成長を通して新しい人が成就されることについて語っています: 1. エペソ2:15で、私たちは新しい人の有機的な創造を見ます。4:13~16で、私たちは新しい人の機能の成就を見ます。 **エペソ4:16** この方から、からだ全体は、その豊富な供給のあらゆる節々を通して、またそれぞれの部分の度量に応じた活動を通して、結合され組み合わせられ、からだを成長させ、愛の中でそれ自身を建て上げるに至るのです。2. 有機的な面において完全な新しい人は、正しく機能するために、命の成長を通して成就される必要があります: a. 新しい人は正しい養いを受けることを通して成長すればするほど、ますます正常に機能するようになります。b. 15節のキリストの中へと成長し込むことは、24節の新しい人を着ることと等しいのです。3. 私たちは団体の新しい人の成長のために、十字架につけられ復活し昇天し下って来たキリストを経験する必要があります。それは、すべてを含むキリストが私たちの中へと造り込まれて、私たちのすべてとなるためです。その時、有機的な面において完全な新しい人が、機能において完全になります。

**エペソ4:8** 「彼は高い所へ昇られた時、とりこにされていた者たちをとりことして引いて行き、人々に賜物を与えられた」。

G. すべての事でキリストの中へと成長し込むことは、宇宙的な一人の新しい人の実際的な出現のためです。✚

Ⅲ. 一人の新しい人の実際的な出現のために、私たちは労苦し奮闘して、キリストの中で完全に成長したすべての聖徒をささげる必要があります：コロサイ1:27-29 神は彼らに、異邦人の間にあるこの奥義の栄光の豊富がどんなものであるかを、知らせたいと願われました。それはあなたがたの内にいますキリストであり、栄光の望みです。私たちはこのキリストを告げ知らせ、知恵を尽くしてすべての人を戒め、すべての人を教えています。それは私たちが、キリストの中で完全に成長したすべての人を、ささげるためです。このために、私もまた労苦し、私の内で力をもって活動している彼の活動にしたがって、奮闘しているのです。

A. パウロの務めは、キリストを人の中へと分与し、彼らがキリストの中で円熟して完全な成長へと至ることによって、完成され、完全にされるようにすることでした。

B. 私たちが罪人に福音を宣べ伝えることと聖徒たちと交わることの目標は、キリストを彼らの中へと供給して、彼らがキリストの中で円熟し、キリストの中で完全に成長してささげられることです。これは、新しい人の成長のためです。

C. 人をキリストの中で完全に成長させてささげることは、極めて困難な働きです。この働きは、労苦し、神の活動にしたがって私たちが奮闘することによってのみ達成することができます。

D. パウロが、奮闘して、人をキリストの中で完全に成長させてささげることに于行なったことは、聖徒たちを成就してキリストのからだを建造するという労苦しの模範です。✚

1. 主が彼の回復の中で願っているのは、キリストのからだのすべての肢体を成就することを回復することです。

エペソ4:11-12 そして彼ご自身は、ある人たちを使徒…として与えられました。それは、聖徒たちを成就して、その務めの働きへと、キリストのからだの建造へと至らせるためであり、16 …からだ全体は…からだを成長させ、愛の中でそれ自身を建て上げるに至るのです。2. 神の意図は、賜物のある人が行なう事を、すべての信者が行なうことができるようにすることです。これが、聖徒たちを成就することに関するパウロの思想です。3. 主は、聖徒たちを成就することを回復して、キリストのからだのそれぞれの部分はその度量に応じた活動によってその務めの働きを行ない、キリストの有機的なからだを建造することを願っています。

Ⅳ. 一人の新しい人が再生を通して私たちの霊の中で創造された時、器官に関してはすべてそろっていました。しかしながら、新しい人はまだ機能において完全ではなかったため、成長と更新の必要があります：

A. 新しい人の成長は、新しい人の機能をもたらします。

B. 新しい人が成長と更新に欠けているなら、機能に欠けています。

C. 一人の新しい人は、成長し、発展する必要があります。その結果、一人の新しい人は機能において完全になります。

Ⅴ. 新エルサレムは、宇宙的な一人の新しい人の最終の究極的完成です：

A. 神の目標は、宇宙的な一人の新しい人を持つことであり、それは最終的に、新エルサレムにおいて究極的に完成します。

B. 私たちは新エルサレムにいる時、宇宙的な一人の新しい人の生活を享受します。

C. 今日私たちは、思いを上にあるものに置くことによって、また霊の中の新しい人に自由な道を与えて私たちの全存在に広がらせることによって、一人の新しい人の究極的完成の前味わいを持ちます。✚

Crucial Point(1):すべての事でキリストの中に成長し込み、実行上の一に至る経験は、信者を成就して、会社における優れたマネージャーにすることができる

OL1: 私たちは、実際における一から実行における一へと前進し、ついには13節で述べられた三つの事柄(一 [the oneness]、一人の完全に成長した人、キリストの豊満の身の丈の度量)にまで到達する必要があります。

OL2: 私たちがキリストの中へと成長し込んでいない事がまだ多くあります。それらの事において、私たちはキリストの中におらず、キリストの外にいます。

OL3: 私たちがみなすべての事でキリストの中へと成長し込むとき、私たちはみなキリストの中で一になります。これが宇宙的な一人の新しい人です。

エペソ 4:13 によれば、聖徒たちは成就されて、ついには三つの事柄に到達する必要があります。すなわち、その信仰の一と神の御子を知る全き知識の一、一人の完全に成長した人、キリストの豊満の身の丈の度量です。その時、私たちはもはや幼子ではなく、波にもてあそばれたり、教えのあらゆる風によって吹き回されたりすることはありません。むしろ、愛の中で真実を固く保って、私たちは「すべての事で、彼すなわちかしらであるキリストの中へと成長し込むのです」(15節)。私たちは成長すればするほど、ますます教理を捨てるようになります。ある人が救われたなら、キリストが彼の霊的な食物また飲み物として彼を供給する必要があります。これは彼を成長させます。彼は成長していくと、徐々に教理的な観念を捨てるようになります。

[エペソ 4:15]の「すべての事」が意味するのは、一つ一つの事であり、大きな事でも小さな事でもということです。私たちはすべての事で、キリストの中へと成長し込まなければなりません。今日さえ、私たちがキリストの中ではなく、キリストの外で行なっている事柄がまだ多くあります。私たちはすべての事で、大きな事でも小さな事でも、キリストの中へと成長し込む必要があります。あなたはあなたの中にキリストを持っていますが、キリストの中へと成長し込んでいない事がまだ多くあります。これは完全にその霊の事柄です。キリストの中へと成長し込むとは、その霊の中へと成長し込むことです。あなたの語りかけはその霊の中になければなりません。あなたの行動、あなたの装い、あなたの服装は、すべてその霊の中になければなりません。あなたの人との対応、諸事の管理、人を取り扱う方法は、その霊の中になければなりません。あなたはすべての事で、その霊の中へと入る必要があります。

適用：青年在職・大学院生編

青年在職者は業務における自分の専門分野を特化して、その領域における専門家になる必要があります。あなたはおよそ35歳までにその専門の領域を定めるべきです。その後会社では、専門性を極めるシニア・スペシャリスト(上級専門職)の道と、専門家を束ねるマネージャー職(管理職)の道に分かれます。クリスチャンは命の中で王として支配する人たちなので、あなたは35歳前後で可能であれば管理職の道を目指してください。ローマ5:17 …あふれるばかりの恵みとあふれるばかりの義の賜物を受ける者たちは、さらにいっそう一人の方、イエス・キリストを通して、命の中で王として支配します。

クリスチャンであるあなたはビジネス・ライフの全ての事(大きな事、小さな事全て)でかしらであるキリストの中へと成長すべきです。例えば、転職などの大きな事においてキリストの中へと成長し込むべきです。また、小

さな事、例えば、兄弟たちは毎日の通勤で満員電車に乗りますので、若い女性に近づきすぎないように、誘惑に陥らないように祈るべきです。姉妹たちは同僚が優良企業の社員と婚約したと聞くと嫉妬心が湧いてきます。姉妹たちは主の御名を呼んで嫉妬心を十字架に付ける必要があります。これらは日常生活の小さな事です。これらの小さな事であなはキリストの中へと成長し込むべきです。実はあなたは多くの事においてキリストの中へとまだ成長し込んでいませんので、一つ一つの事で成長することができますようにしてください。

このような成長によってあなたは実際上の一から前進して実行上の一に至ります。これは、成長が違いと敵意を生み出す人の観念、習慣、教理を飲み尽くし、すべての人を一に至らせることを示しています。召会生活における実行上の一に至るこの経験は、あなたがマネージャーとしてチームを一つにまとめることを大いに助けます。サタンの影響の下にあるこの世では、分けられる強い傾向があるので、小さな組織でも様々なグループを作ってしまうバラバラになります。しかし、神は人々を集め一にするので、あなたは祈ってキリストを知恵とすれば、チーム・ビルディングして一つにする能力を持った良いマネージャーになることができます。

**祈り:**「おお主イエスよ、私は大きな事、小さな事の全ての事で、かしらであるキリストの中へと成長し込み、一に到達することができます。このことは会社におけるチーム・ビルディングにもつながります。サタンの分け力に対抗して、キリストの中で集められ一つになる能力を持った管理職になることができますように」。

### **Crucial Point(2):一人の新しい人の成就のため、召会生活の中で分与、成長、機能を経験する**

**OL1:**命において成長することは、神の増し加わりによって成長することです。このことは、真の成長が神の増加、神が加えられることであることを意味します

**OL2:**新しい人は正しい養いを受けることを通して成長すればするほど、ますます正常に機能するようになります。

**OL3:**エペソ 4:15 のキリストの中へと成長し込むことは、24 節の新しい人を着ることと等しいのです。

**エペソ 4:15** むしろ、愛の中で真実を固く保って、私たちはすべての事で、彼すなわちかしらであるキリストの中へと成長し込むのです。24 また、あの実際の義と聖の中で、神にしたがって創造された、新しい人を着たのです。

かしらとしてのキリストに結び付くことを通して、私たちはからだの感覚を持つようになります。私たちはからだの生活を経験して、かしらからの豊富を吸収します。これらの豊富は神の要素であって、それはからだの肢体の中で神の増加となり、からだ全体は神の増加によって成長します。ですから、からだの成長は、キリストを享受し、かしらとしての彼に結び付き、彼の豊富を吸収することの産物です。

消化吸収の働きは分与の良い例証です。食べた直後、分与の細やかな働きが始まり、私たちの存在の細胞、繊維、組織に食物が運ばれます。同じように三一の神の分与は、手順を経て究極的に完成された三一の神を、私たちの存在の構成そのものとしてします。この分与の細やかな働きは日々継続しています。

三一の神が私たちの中へと分与されることは、私たちが神の増し加わりによって成長させるのです。何か成長するには、要素、あるいは実質が増し加わらなければなりません。人は食物を食べて成長します。何も食べなければ、成長することができません。私たちクリスチャン

は、神の増し加わり、神の余剰、神の増加によって成長するのです。…しかしながら、神の量は兄弟姉妹それぞれに異なります。…主を私たちの内側で増し加えるためには神の言に来て、日々食べなければなりません。

エペソ 4 章で語られている成長を通して、新しい人は機能するようになります。それぞれの部分の度量に応じた活動を通して、からだは成長して、愛の中でそれ自身を建て上げるに至るのです。新しい人の創造は、ただ主だけの責任でした。私たちはこれには何をする分もありません。しかし、私たちは養いとはぐみを通して、新しい人を成就する責任を果たさなければなりません。新しい人がこのように成就される時、成長して機能的に完全になります。…正常な養いを受けることを通してはじめて、新しい人は機能することで完全になることができます。

### **適用:青少年・大学生編**

食物を食べることは食物の体の中への分与です。食物は体の構成要素であるタンパク質、脂質を新陳代謝的に供給し、体のエネルギー源である糖質を供給します。あなたが朝毎の復興、祈り、集会、福音、牧養などで神聖な分与にあずかるとき、同じことが私たちの霊と魂の中で起こっています。

召会生活におけるキーワードは、分与、成長、機能です。「**分与**」:最初にあなはキリストを食べ飲み享受して神聖な分与にあずかってください。分与に豊かにあずかるために、分与にあずかるあらゆる機会(朝ごとの復興、集会、福音、牧養、奉仕など)で、あなたは霊を活用し、主を愛し、心を主に開き、思いを霊に付けてください。

「**成長**」:分与を享受すると、成長することができます。分与の下で成長するために、学校生活のあらゆることで主と交わることを訓練してください。主と交わることの始まりは御言葉の祈り読みです。御言葉を祈り読みして、主と個人的に、親密に交わることを学び、日常生活で主と親密に交わることを発展させることができます。例えば、**Ⅱコリント 4:16** で、「**こういうわけで、私たちは落胆しません**」とあります。あなたは次のように主と交わることができます。「**おお主イエスよ、パウロは私たちが落胆しないように命じます。パウロは多くの苦難を経験しましたが、なお落胆せず霊の中で燃え、前進しました。しかし私の現実の生活はパウロの生活とかなり乖離があります。多くの時、落胆し、つぶやきます。私は信仰によってこの言葉を受け入れます。私が落胆しそうとき、自分自身に、『こういうわけであなは落胆してはいけません』と祈ります。私の日常生活で神の分与の下での成長を経験できますように**」。

「**機能**」:あなたは成長して機能的に完全になります。機能的に完全になるとは、(1)福音を伝える、(2)牧養する、(3)預言する、(4)新人を成就する、(5)建造して実行上の一に至ることです。簡単に言うと、あなたは生養教建の機能において前進する必要があります。

### **Crucial Point(3):新人が成長し機能において完全になるまで神の活動にしたがって奮闘する奉仕**

**OL1:**私たちが罪人に福音を宣べ伝えることと聖徒たちと交わることの目標は、キリストを彼らの中へと供給して、彼らがキリストの中で円熟し、キリストの中で完全に成長してささげられることです。これは、新しい人の成長のためです。

**OL2:**人をキリストの中で完全に成長させてささげることは、極めて困難な働きです。この働きは、労苦し、神の活動にしたがって私たちが奮闘することによってのみ達成することができます。**OL3:**新しい人の成長は、新しい人の機

能をもたらします。新しい人が成長と更新に欠けているなら、機能に欠けています。

**エペソ4:11-12** そして彼ご自身は、ある人たちを使徒…として与えられました。それは、聖徒たちを成就して、その務めの働きへと、キリストのからだの建造へと至らせるためであり、**16** …からだ全体は…からだを成長させ、愛の中でそれ自身を建て上げるに至るのです。

福音を宣べ伝えるときでさえ、私たちの目的は、命を分け与えて、キリストの中で円熟し、完全に成長した人をささげることではなりません。未信者に福音を宣べ伝え、キリストを供給し、彼らが主を受け入れるのを助けるとき、私たちの目標は単に、彼らが火の池から、また神の罪定めから救われることだけではありません。私たちの目標は、彼らが神の赦しを経験することだけではありません。それは、キリストを彼らの中へと供給して、彼らがついにキリストの中で完全に成長してささげられることです。

キリストの中で完全に成長した人をささげること、私たちは創世記 2 章で立てられた原則に従う必要があります。人は土地を耕し、神は雨を降らせられます。…もし土地を耕す私たちの働きにだけ依り頼んで、雨を降らせてくださる主に信頼しないなら、私たちは間違っています。しかし、もし雨を求めて主に祈るだけで、土地を耕す私たちの責任を果たさないなら、それも間違っています。…私たちはただ祈るだけでなく、キリストの活動にしたがって労苦すべきであることを見ます。

信者たちが所有し享受する神聖な命の中には、一つの能力があります。そしてこの能力は、彼らの才能へと発展させられる必要があります。人の命には、聞く、見る、かぐ、語る、歩くなどの能力があります。これらすべての能力は、ある程度発展を必要とします。そしてその発展が起こるためには、実行の必要があります。…機能が発展させられるには、命の成長と実行が必要です。幼子は実行することによって、また命の成長によって語ることを学びます。

キリスト教の伝統的実行は、信者たちが所有し、享受する神聖な命の中の能力を無効にします。…そして機能する機会を信者たちから奪い取ります。もし一人の人が救われて一年間信者席に座るなら、彼はどのように機能するかを学ばないでしょう。…聖徒たちを成就することについての真理は、伝統的キリスト教の実行と正反対です。

### 適用: 奉仕者編

あなたは奉仕者として、回復の中の召会生活が完全に聖書の啓示に従っているのを、他のキリスト教の団体の実行とは異なっていることを認識してください。聖書は一人の新しい人が成就されるために、すべての兄弟姉妹の機能が発揮される必要があることを啓示しています。そして毎週の主日集会ではみんなが機能する必要があります。このために特別な賜物のある肢体は、聖徒たちを機能において成就すべきです。

あなたが奉仕をすればするほど、一人になってしまうようであってははいけません。そうではなく、奉仕をすればするほど奉仕者が増えるようにすべきです。新人についても彼らを養い、成長させ、様々な奉仕で機能するように導く必要があります。建造に至るための重要な観念は、「一人一人が機能する」ことです。召会に関心のない人を、召会に関心を持たせるようにし、役に立たない人を役に立つ人にしてください。この成就の働きのために、あなたは人々を注意して観察し、人々の長所を見出し、発展させ、同時に短所を克服させることを学んでください。

例えば、ある人は欠点が多いのですが、プロジェクトのスケジュール管理は得意です。このような人は学生や青年在職者のスケジュール管理を助ける働きをすることができます。自分の長所が活かされる時、人は自分の短所を克服しようという気持ちになります。

**祈り:**「おお主イエスよ、一人の新しい人のために一人一人が機能しなければなりません。機能を発揮するために、私は成就される必要があります。新人たちの関心に注意を払い、彼らの長所を見出し、それを発揮させることができますように。その後、彼らの短所を克服することを学んでもらいます。このことは容易なことではないので、内側の神の活動に従って奮闘します。彼らを完全に成長した人にならせ、彼らをあなたにささげます」。

### 人生の奥義(2)

#### 人の悲惨な状況③『思い煩う』

- A. 「私の熱心は私を食い尽くしました」(詩 119:139)。
- B. 飽食と衣服に対する願望と欲求のために思い煩ってははいけません(マタイ 6:25 FN1)。
- C. 「だれが、思い煩ったからといって、自分の身の丈(寿命)に一キュビトでも加えることができようか？」(マタイ 6:27b FN1)。
- D. 「主は近いのです。何事にも思い煩うことなく、あらゆることにおい感謝をささげることを伴う祈りと願い求めによって、あなたがたの要望を神に知らせなさい」—思い煩いはサタンから来ますが、人の生活の総合計であって、信者がキリストを生きる生活を妨げます(ピリピ 4:5b-6 6 節 FN1)。

#### 私たちの取るべき態度②『来る』

- A. 「さあ、エホバに立ち返ろう。彼は私たちを…いやし…包んでくださるからだ。彼は…私たちを生かし…それゆえ、私たちは知ろう。エホバを知ることの追い求めよう。彼が現れ出るのは夜明けのように確かであり、彼は雨のように私たちに臨み、後の雨のように地を潤す」(ホセア6:1-3)。
- B. 「すべて労苦し重荷を負っている者は、私に来なさい。そうすれば、私はあなたがたに安息を与える」—何か働きに成功しようとして奮闘する労苦のことを言っています。このように労苦する人はだれでも、常に重荷負っています。…安息は、律法と宗教から、また働きや責任の労苦と重荷から解放されることだけでなく、完全な平安と全き満足のことを言っています(マタイ11:28 FN1、2)。
- C. 「ですから、私たちがあわれみを受け、また時機を得た助けとなる恵みを見いだすために、大胆に、恵みの御座に進み出ようではありませんか」—私たちがあわれむべき状態にあるとき、神のあわれみがまず私たちに届き、私たちを、神が彼の恵みを施すことのできる状態にもたらしめます。…神のあわれみはさらに遠くまで届いて、私たちと神の恵みとの間の隔たりに、橋渡しをします。神のあわれみと恵みは常に、私たちのものとなることができます(ヘブル 4:16 FN2)。
- D. 「渇いている者は来たれ。欲しい者は、命の水を値なしに飲むがよい」—キリストを享受することの約束と考えられます。命の水を飲むようにと招きます。その命の水は命を与える霊です(啓示録22:17b 14節FN1)。
- E. 「さあ！渇いている者はみな水に来なさい。あなたがた銀のない者も、来なさい。買って食べなさい。来て、銀を出さず無代価で、ぶどう酒と乳を買いなさい。なぜ、あなたがたは糧でもないもののために銀を費やし、満足させないもののために労苦するのか？ 聞け、私に聞け、良いものを食べ、あなたがたの魂を脂肪で楽しませよ。あなたがたの耳を傾け、私に来なさい」(イザヤ55:1-3a)